

令和5年度第1四半期における運用状況等

(令和5年4月～令和5年6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っています。令和5年度第1四半期における運用状況を「独立行政法人農業者年金基金中期計画」に基づき公表いたします。

当基金が行っています年金資産の運用においては、確定拠出型の年金制度であることから、原則、資産を時価で評価しなければならないため、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績が変動しマイナスになることがあります。長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（令和5年3月23日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 運用の透明性の確保

年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公表するとともに、被保険者等に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の被保険者等に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 令和5年度第1四半期（令和5年4月～令和5年6月）における運用環境について	1
2. ベンチマーク・インデックスの推移	2
3. 令和5年度第1四半期（令和5年4月～令和5年6月）におけるポートフォリオ別の運用状況 . . .	3
（参考） 用語の説明	5

1. 令和5年度第1四半期（令和5年4月～令和5年6月）における運用環境について

（4月）

株式については、米経済指標の結果を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ継続観測が後退した他、大型ハイテク株などの決算が好感され、国内・国外ともに株価は上昇しました。

債券については、外国債券は外国株式の上昇やFRB高官のタカ派発言を受けて金利は上昇（債券価格は下落）しました。その後は、米地銀の預金流出を受けてリスクオフの流れから金利の上昇幅は縮小しました。

国内債券は日銀の金融緩和政策の維持により金利変動は限定的でした。

なお、為替は、日銀の金融緩和政策が早期に修正されるとの見方が後退したことから円安が進行しました。

（5月）

株式については、外国株式は米地銀の健全性を巡る懸念や米政府債務上限問題の影響からダウ平均株価は下落（現地通貨ベース）しました。

国内株式は好調な決算が好感された他、海外投資家の積極的な買いや円安が支えとなり株価は上昇しました。

債券については、外国債券はFRBが利上げ停止に慎重な姿勢を示したことから金利は上昇（債券価格は下落）しました。

国内債券は日銀の金融緩和政策の維持により金利変動は限定的でした。

なお、為替は米利上げ継続観測から円安の動きが強まりました。

（6月）

株式については、外国株式は米政府債務上限問題が解決した他、米雇用統計で賃金の伸びが鈍化したこと等を受けて株価は上昇。その後も米利上げの見送り等から株価は上昇しました。

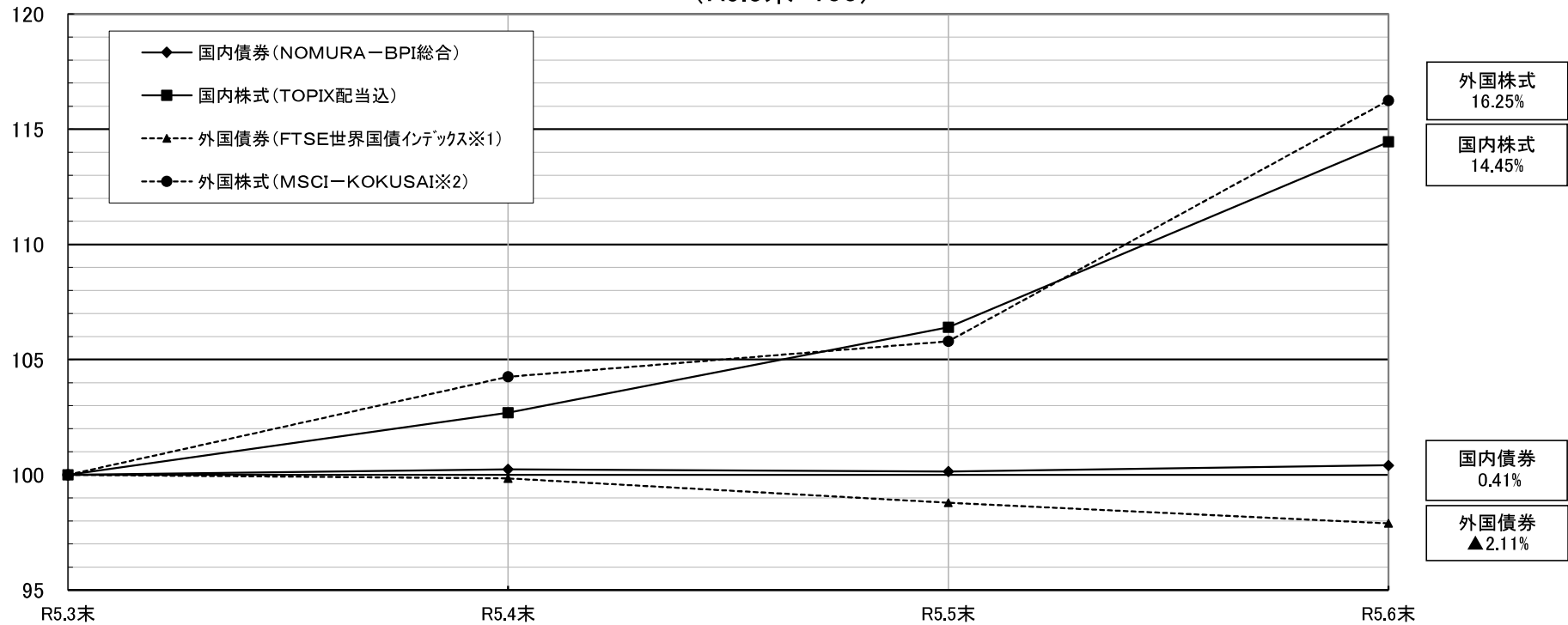
国内株式は海外投資家の買いが継続した他、円安の進行が支えとなり、日経平均株価は約33年ぶりの高値となりました。

債券については、外国債券は米雇用統計で賃金の伸びは鈍化した一方、金融引き締め長期化観測等から金利は上昇（債券価格は下落）しました。

国内債券は日銀の金融緩和政策の維持により金利変動は限定的でした。

なお、為替は金融政策を維持する日銀と欧米の金融政策の方向性の違いから、対ドル・ユーロともに円安が進行しました。

2. ベンチマーク・インデックスの推移 (R5.3末=100)



(参考) 市場インデックス

区分	令和5年3月末	令和5年4月末	令和5年5月末	令和5年6月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	0.320 %	0.385 %	0.430 %	0.395 %
(NOMURA-BPI総合)	374.743 ポイント	375.608 ポイント	375.266 ポイント	376.290 ポイント
国内株式 (日経225)	28,041.48 円	28,856.44 円	30,887.88 円	33,189.04 円
(TOPIX配当込)	3,324.74 ポイント	3,414.45 ポイント	3,537.93 ポイント	3,805.00 ポイント
外国債券 (米国10年国債利回り)	3.470 %	3.425 %	3.646 %	3.840 %
(独10年国債利回り)	2.292 %	2.313 %	2.282 %	2.392 %
(FTSE世界国債インデックス※1)	352.246 ポイント	351.702 ポイント	347.992 ポイント	344.827 ポイント
外国株式 (NYダウ)	33,274.15 ドル	34,098.16 ドル	32,908.27 ドル	34,407.60 ドル
(独DAX指数)	15,628.84 ポイント	15,922.38 ポイント	15,664.02 ポイント	16,147.90 ポイント
(MSCI-KOKUSAI※2)	5,644,416 ポイント	5,884,476 ポイント	5,971,299 ポイント	6,561,375 ポイント
為替レート (対ドル)	133.09 円	136.17 円	139.71 円	144.54 円
(対ユーロ)	144.59 円	150.33 円	148.94 円	157.69 円

※1 FTSE世界国債インデックス (除く日本、為替ヘッジあり)

※2 MSCI-KOKUSAI (源泉税控除前、配当再投資、為替ヘッジなし)

3. 令和5年度第1四半期(令和5年4月～令和5年6月)におけるポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

令和5年度第1四半期(令和5年4月～令和5年6月)の被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、令和5年6月末時価総額は2,768億3百万円となり、第1四半期の総合収益は101億72百万円となりました。また、修正総合利回りは3.81%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	令和4年度末 時価総額	令和5年6月末 時価総額	時価総額構成割合	第1四半期 の総合収益	(参考) 修正総合利回り
国内債券	143,290	142,767	51.6	430	0.30
自家運用	70,875	70,050	25.3	65	0.09
外部運用	72,415	72,716	26.3	365	0.51
国内株式	33,436	38,137	13.8	4,756	14.22
外国債券	51,511	51,932	18.8	121	0.32
外国株式	35,824	41,377	14.9	5,689	15.83
短期資産	3,855	2,590	0.9	-824	—
合 計	267,916	276,803	100.0	10,172	3.81

- (注) 1. 政策アセットミックスは、国内債券56% (±10%)、国内株式12% (±4%)、外国債券20% (±2%)、外国株式12% (±4%) としています (カッコ内は乖離許容幅)。
2. 国内債券のうち自家運用 (満期保有目的) については、償却原価法 (定額法) を適用しています。
3. 国内債券のうち外部運用については、金利上昇リスクに対応するために保有する短期資産 (令和4年度末時価総額33,180百万円、令和5年6月末時価総額32,971百万円) を含みます。
4. 外国債券のベンチマーク・インデックスには令和3年10月から中国国債が段階的に組み入れられていますが、当基金においては当面、中国国債は購入しないこととしています。
5. 令和4年度末時価総額は、令和4年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の3,855百万円は、決算整理前の額930百万円に被保険者危険準備金ポートフォリオ (付利準備金) からの補てん額2,925百万円を加算した額です。
6. 令和5年6月末時価総額 (合計) は、令和4年度末時価総額 (合計) 267,916百万円に、第1四半期の受給権者ポートフォリオへの繰入額等1,285百万円を減算及び総合収益の10,172百万円を加算した額276,803百万円となりました。
7. 短期資産の総合収益のマイナスは、外国債券の購入にかかる為替差損です。
8. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(以下同じ。)

② 受給権者ポートフォリオ

令和5年度第1四半期(令和5年4月～令和5年6月)の受給権者に係る資産状況は、次表のとおりとなっており、年金給付等の原資は確保されています。

(単位:百万円)

資 産	令和4年度末 時価総額	令和5年6月末 時価総額
国内債券	100,432	104,542
短期資産	4,986	4,114
合 計	105,418	108,656

(注) 1. 令和4年度末時価総額は、令和4年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の4,986百万円は、決算整理前の額5,750百万円から受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額763百万円を減算した額です。

2. 令和5年6月末時価総額の短期資産のうち1,699百万円は、マイナス利回りの国内債券購入を回避するため、追投待機資産として現預金等により取り置いているものです。

③ 被保険者危険準備金ポートフォリオ及び受給権者危険準備金ポートフォリオ

令和5年度第1四半期(令和5年4月～令和5年6月)の危険準備金に係る資産状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円)

ポートフォリオ	区 分	資 産	令和4年度末 時価総額	令和5年6月末 時価総額
被保険者危険準備金 ポートフォリオ	付利準備金	短期資産	6,916	6,917
	調整準備金	短期資産	3,661	3,607
	合 計		10,577	10,524
受給権者危険準備金 ポートフォリオ	調整準備金	短期資産	4,650	4,737

(注) 令和4年度末時価総額は、令和4年度決算整理後の額となっています。なお、被保険者危険準備金ポートフォリオの短期資産の合計10,577百万円は、決算整理前の合計額13,502百万円から被保険者ポートフォリオへの補てん額2,925百万円を減算した額です。また、受給権者危険準備金ポートフォリオの短期資産の4,650百万円は、決算整理前の額3,884百万円に受給権者ポートフォリオからの受入額765百万円を加算した額です。

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が算出している国内株式市場の代表的な指標である。構成銘柄については令和4年4月の東証市場再編により、令和7年1月までに旧東証1部上場全銘柄から東証上場銘柄のうち流通時価総額100億円以上の銘柄へと段階的に移行することとされている。

* FTSE世界国債インデックス(除く日本、為替ヘッジあり)

FTSE Fixed Income LLCが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、為替ヘッジなし)

MSCI Inc.が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。